

白癬菌の侵入機序

← ゴシック体14ポイント

発表者名にアンダーライン

森下宣明, 二宮淳也, 清 佳浩, 滝内石夫
(昭和大・藤が丘・皮)

← 明朝体12ポイント

明朝体12ポイント

足白癬の発生は白癬患者から環境中へ菌が脱落し、この脱落した菌が非感染者の足蹠に付着後、菌が角質内への侵入して成立する。我々はこれまでに角質内への皮膚糸状菌の侵入に関する条件について検討してきた。T. mentagrophytesにおいて27°Cよりも35°Cの方が角質表面への侵入が早い。35°Cにおいて、湿度100%では1日で侵入が始まるが90%では3日を要する。尚湿度100%では、15°Cでも4日で侵入が観察されるため、温度よりも湿度の方が重要な条件と思われる。一方、角質切断面では100%のみならず90%においても0.5日で菌が侵入するため、足白癬以外の体部白癬などの発生条件として些細な外傷が重要と思われる。今回は、皮膚糸状菌が侵入した角質を経目的に洗浄し、菌の残存を電顕的に観察することで、洗浄による皮膚糸状菌の感染に対する予防効果についても述べる予定である。

イタリック部分はアンダーライン